

仙台圏域

(仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村)

～新しい観光資源を活かした圏域一体となった周遊戦略の展開～

仙台圏域について

- 太平洋と奥羽山脈に囲まれるように仙台平野が広がり、「海・山・大地」の自然に恵まれている。
- 県内最大数となる14の市町村が所在し、県全体に占める面積は約2割、人口は約7割である。
- 道路、鉄路、海路及び空路のすべてに及ぶ交通インフラが整備されており、また、県庁所在地である山形市と隣接するなど県内・域内に加えて山形県とのアクセスにも恵まれている。

圏域の観光の現状

- 圏域としての観光に関する検討や取組において、観光関連事業者等との連携が少ない。
- 若い世代を中心にSNS等を活用した情報収集により、訪問する観光地が選ばれている。
- 圏域は、県内でも県外・国外からの観光客が多かった。

圏域の観光の課題

- 観光の取組について、観光関連事業者、交通インフラ関係者及び行政が一同にして話し合う場があるか。
- 新たな観光資源や農林水産業の新たな施設・取組が、圏域内外に十分に認知され、また、周辺の観光資源と有機的に連携し集客に繋がっているか。
- 観光客のニーズや嗜好を十分把握したうえで、訴求力のある情報発信を行っているか。また、SNS等の機能が十分に活かされたものとなっているか。
- 把握した観光客のニーズ等を圏域で共有し、圏域の観光施策の展開に活かされているか。
- コロナ禍で、県外・国外からの観光客との繋がりが希薄になりつつある。

圏域の施策の方向性及び取組

<計画期間で対応が必要な取組>

- 圏域観光の展開において、観光関連事業者、交通インフラ関係者及び行政同士が情報共有、意見交換及び協働等連携を実施する仕組の構築。
- 観光資源の発掘・磨き上げ・PR及びこれら観光資源と連携したスタンプラリーやテーマ性を持たせた情報発信を包含し「面」としてマイクロツーリズムを展開する。
- 観光客のニーズや嗜好の把握と、得られた情報を圏域で共有し、多様な観光客毎に訴求する方法で情報発信を行うなど戦略的に活用する。また、SNS等を活用する際にはその機能・特性を活かし情報発信を行う。
- 観光を軸とする「仙山交流」のネットワークを活用した取組を再開し交流人口・関係人口の拡大とともに、各市町村の特色ある他分野・異業種連携も視野に入れ観光資源の高付加価値化を図る。

<中長期的に対応が必要な取組>

- 県外・国外からの観光客復活に向けて、圏域内の観光資源とその安全・安心に関する情報発信を継続するとともに、その情報は高品質且つタイムリーなものとする。



JRフルーツパーク仙台あらはま
(仙台市)



富谷宿観光交流ステーション
(富谷市)



震災遺構中浜小学校
(山元町)



夜の松島湾
(松島町)